

❖□■□■□❖□■□■□❖□■□■□❖□■□■□❖□■□■□❖□■□■□❖□■□■□

実験植物開発室 メールニュース 9月号 理研バイオリソース研究センター

❖□■□■□❖□■□■□❖□■□■□❖□■□■□❖□■□■□❖□■□■□❖□■□■□

2026. 9. 30

このメールは、これまでユーザー登録をされた方、技術研修に参加された方、及び展示会等にて実験植物開発室からのメールニュースを希望された方を対象に送信しています。配信不要の方、配信を希望される方がいらっしゃれば plant.brc@riken.jp までご連絡いただければ幸いです。

実験植物開発室が開発した、遺伝子組換え植物に導入されたトランスジーンを効率的に解析する手法が、Plant and Cell Physiology 誌に掲載されました

本手法は、遺伝子組換え植物の特性確認やバイオリソースの品質管理に加え、非遺伝子組換え体への遺伝子組換え体の混入確認にも活用できることが期待されます。

遺伝子組換え植物やゲノム編集植物を用いた研究では、目的遺伝子の導入状況や導入遺伝子の構成を正確に把握するとともに、意図しないDNA配列が混入していないことを確認することが重要です。

今回開発した手法では、複数の標的配列を同時に増幅し、それぞれの断片サイズを測定することで識別を行います。

これにより、植物に導入された遺伝子関連配列を効率的かつ高精度に解析できるようになりました。

実験植物開発室では、本手法を保存・提供している遺伝子組換え植物の品質管理に日常的に活用しており、今後も高品質なバイオリソースの提供に努めていきます。

掲載論文: Iuchi A, Iuchi S, Aso Y, Abe H, Kobayashi M, Kawakatsu T. Multiplex PCR based detection methods of common plant transgenes. Plant Cell Physiol. 2026 28:pcag089. doi: [10.1093/pcp/pcag089](https://doi.org/10.1093/pcp/pcag089)

光合成研究に有用なタバコ種子リソースを公開

RIKEN BRCは、タバコ (*Nicotiana tabacum* cv. Xanthi) の野生型および葉緑体改変系統からなる種子リソースの提供を開始しました。鹿内 利治先生 (京都大学) より譲渡いただきました光合成電子伝達やATP合成酵素機能の研究に活用できる研究材料です。

https://plant.rtc.riken.jp/resource/psz/psz_list.html

リソース請求に関するご質問はお気軽に plant.brc@riken.jp までお問い合わせください。

❖*.: ' ° ❖ ° ' . : * . 。 ❖ . : * . : ' ° ❖ ° . : * . 。 . : * ❖

理化学研究所バイオリソース研究センター

実験植物開発室 提供係

〒305-0074 茨城県つくば市高野台 3-1-1

TEL 029-836-9067/FAX 029-836-9053

MAIL plant.brc@riken.jp

HP <https://epd.brc.riken.jp/ja/>

バックナンバー https://epd.brc.riken.jp/ja/mailnews/mail_bklist

BRC X アカウント https://x.com/RIKEN_BRC_jp

BRC Bluesky アカウント <https://bsky.app/profile/riken-brc-jp.bsky.social>

❀*:・'° ❀°'・*::. ❀.:*:・'° ❀。.:*:。.:*❀